

# ◆ 令和3年度 わかりやすい当初予算参考資料

## 予算は

### 目的などに応じて3種類あるよ



#### 企業会計

民間企業と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行う会計です。

- 水道事業会計

#### 特別会計

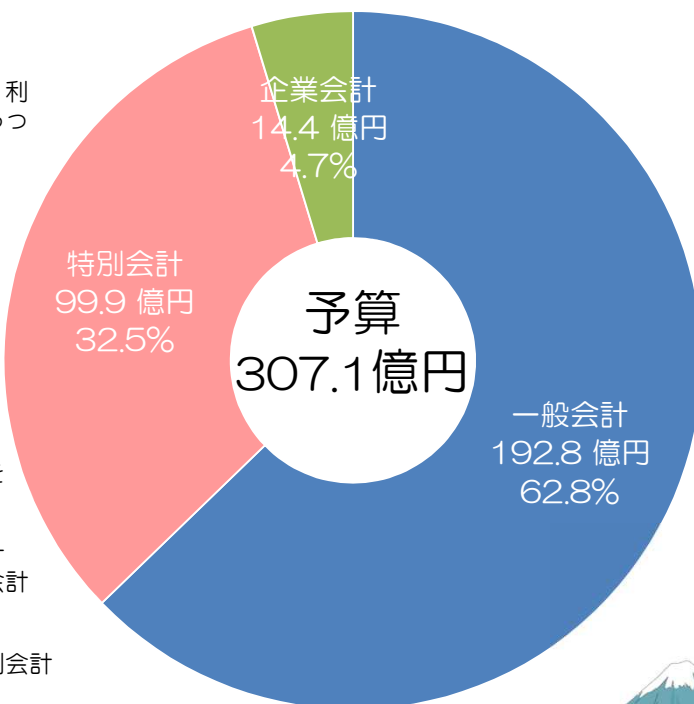
特定の収入があるため、独立した予算で収支を明確にし、特定な事業を行う会計です。

- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計
- 土地取得特別会計
- 農業集落排水事業特別会計

#### 一般会計

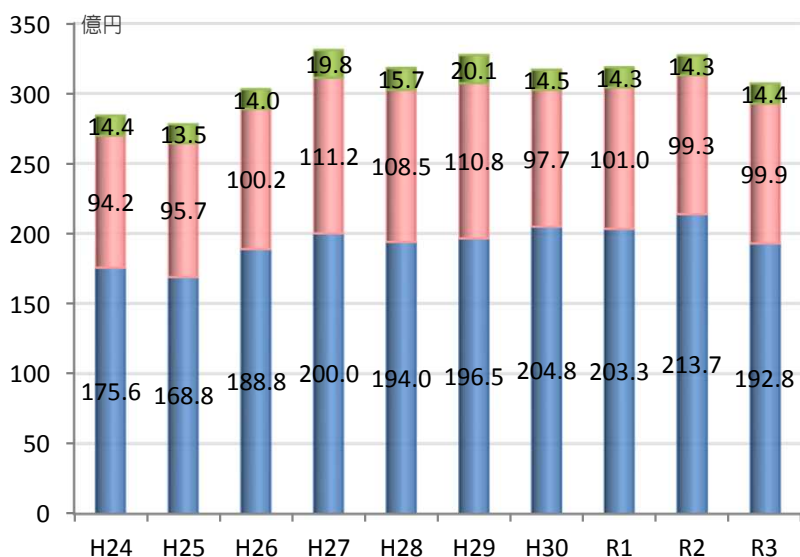
福祉、教育、道路の整備・補修など、市の基本的な事業を行う会計です。主に、市税や地方交付税などで賄われています。

- 一般会計



意次くん

#### 予算の推移



予算規模が増加傾向になっています。

一般会計は、東日本大震災以降、津波避難タワーや防災公園などを整備してきたことが要因となります。

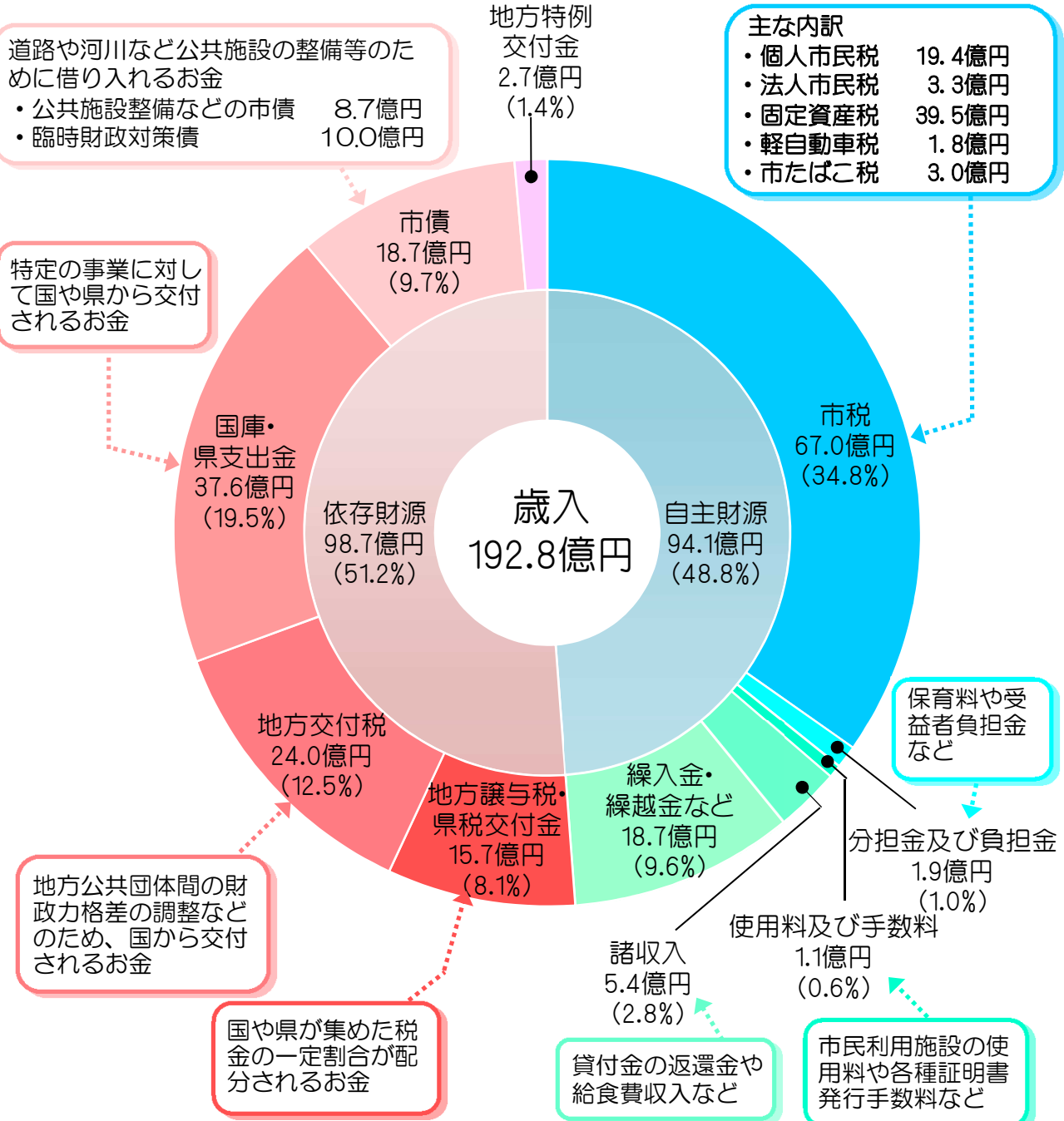
特別会計は、保険事業の制度改正などにより増減しています。

企業会計の水道事業は、配水池整備などの大規模事業の実施時に大幅な伸びとなっています。

# 令和3年度予算をみると

一般会計

## 歳入(収入)

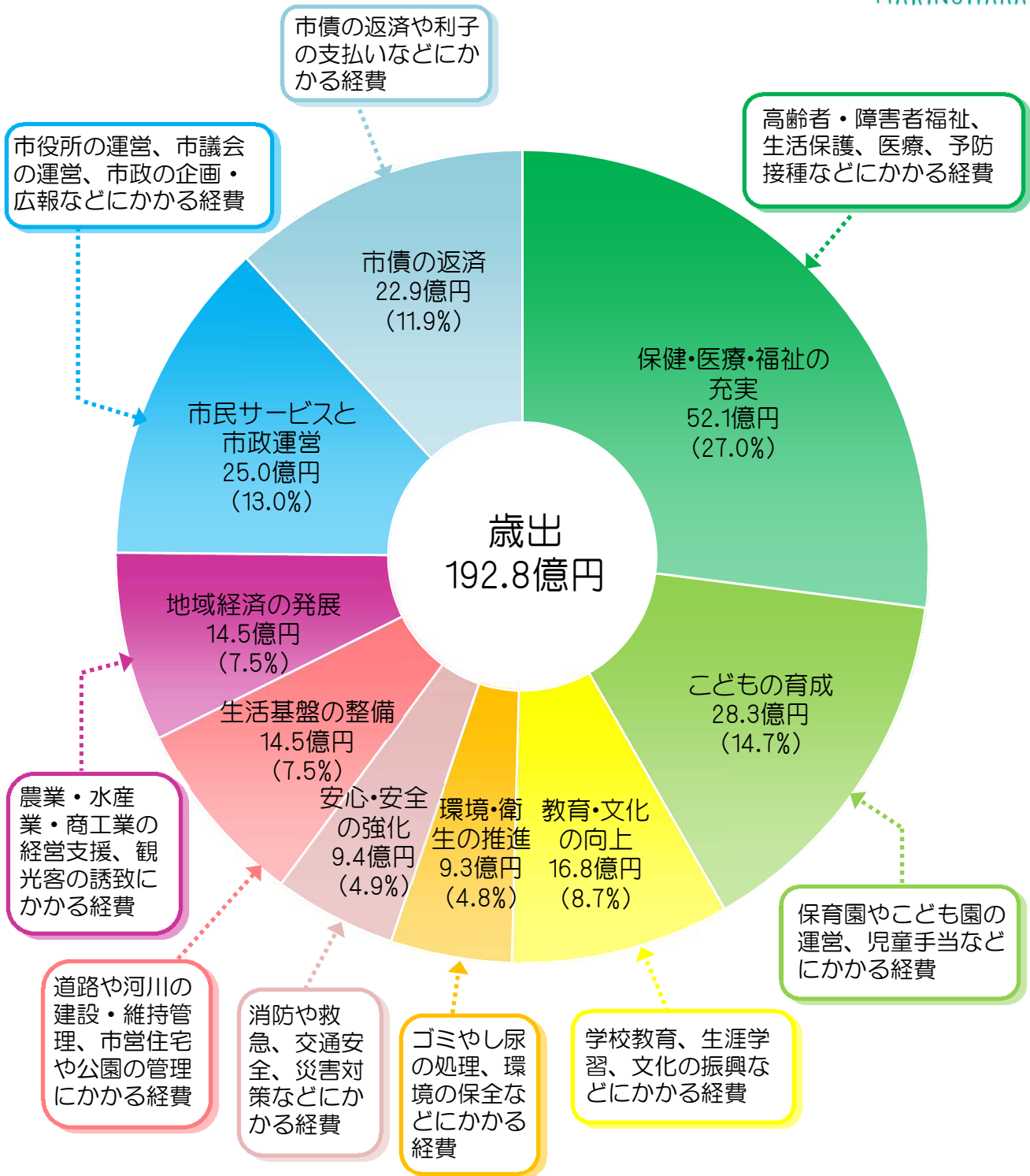


### 市債

市の施設は将来にわたって長期間使われるため、その整備費については今の市民だけでなく、将来の市民にも公平に負担してもらおうという考えで市債を活用しています。しかし、借り入れに際しては、実質公債費比率の増加を抑えるため、交付税算入がある有利な起債を選択して借り入れを行っています。また、このほか標準的な行政サービスを維持するため、国が交付税として交付できない分を地方公共団体が肩代わりする臨時財政対策債も借り入れています。

※ 端数処理のため合計値が一致しない場合があります。(以下同様)

# 歳出(支出)



予算の3分の1以上が、高齢者や障害者、生活困窮者などへの支援、医療や介護の保険事業、予防接種、保育園やこども園、放課後児童クラブの運営、子ども医療費助成、児童手当などの社会保障経費に使われています。

また、過去に整備した道路や学校をはじめとした公共施設などは借金をして事業を行っています。毎年、予算の約1割を返済に充てています。

# 市民1人あたりに換算すると

一般会計

※ 令和3年1月1日現在人口 44,775 人(外国人含む)

予算を市民1人あたりに換算すると、43万600円になります。  
医療や福祉、教育、道路の整備・補修など、様々な市民サービスに使われています。



意次くん

### 保健・医療・福祉の充実

116,500円

### こどもの育成

63,200円

### 教育・文化の向上

37,600円

### 環境・衛生の推進

20,700円

### 安心・安全の強化

20,900円

### 生活基盤の整備

32,400円

### 地域経済の発展

32,300円

### 市民サービスと市政運営

55,800円

### 市債の返済

51,200円



牧之原市の1年間の収入と支出を家計簿にあてはめて説明します。

令和3年度の予算を年収500万円（月収41万6,700円）の家計に置き換えてみました。



意次くん

### 1か月の家計簿

#### < 収入 >

給与	41万6,700円
（基本給（市税）	22万9,900円）
（諸手当（譲与税・交付金など）	18万6,800円）
家賃収入（使用料・手数料など）	1万 100円
親からの支援（国・県支出金）	12万8,900円
貯金の取り崩し（繰入金）	4万1,300円
銀行からの借入（市債）	6万4,300円
計	66万1,300円

#### < 支出 >

食費（人件費）	11万4,100円
医療費（扶助費）	10万2,800円
ローンの返済（公債費）	7万8,600円
車の購入、家の増改築費 （投資的経費・維持補修費）	6万8,100円
友人への支援金 （補助費等・投資・出資金）	8万4,300円
子どもへの仕送り （一部事務組合負担金・繰入金）	10万2,800円
光熱費など（物件費など）	11万 600円
計	66万1,300円

支出は、数年前から多額の借金で家の増改築等をしてきたため、ローンの返済が増加しています。また、異常気象等による空調設置や施設の老朽化から光熱費等も増加傾向です。

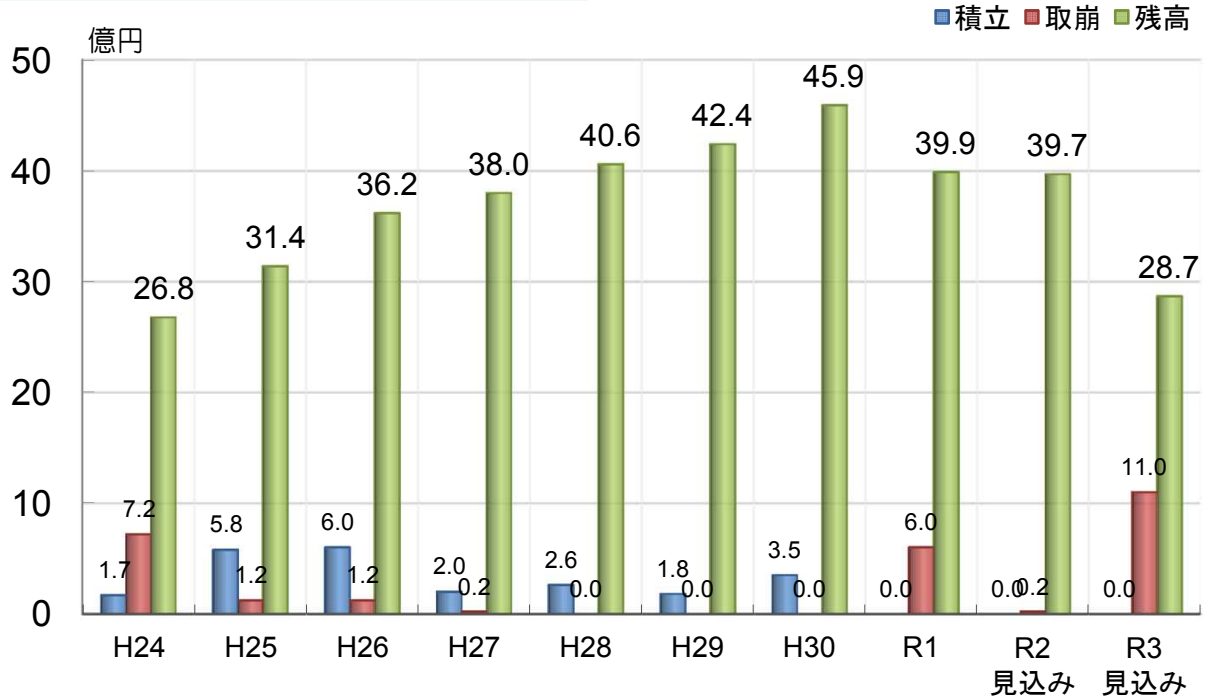
収入は、景気の影響から基本給が減額となっていますが、家の増改築に係る費用が減少したため、貯金の取り崩し、銀行からの借入は抑制している状況です。

今後、維持修繕費の伸びが予想されているため、必要最低限の支出にするなど、抜本的な生活習慣の見直しが必要になってきています。

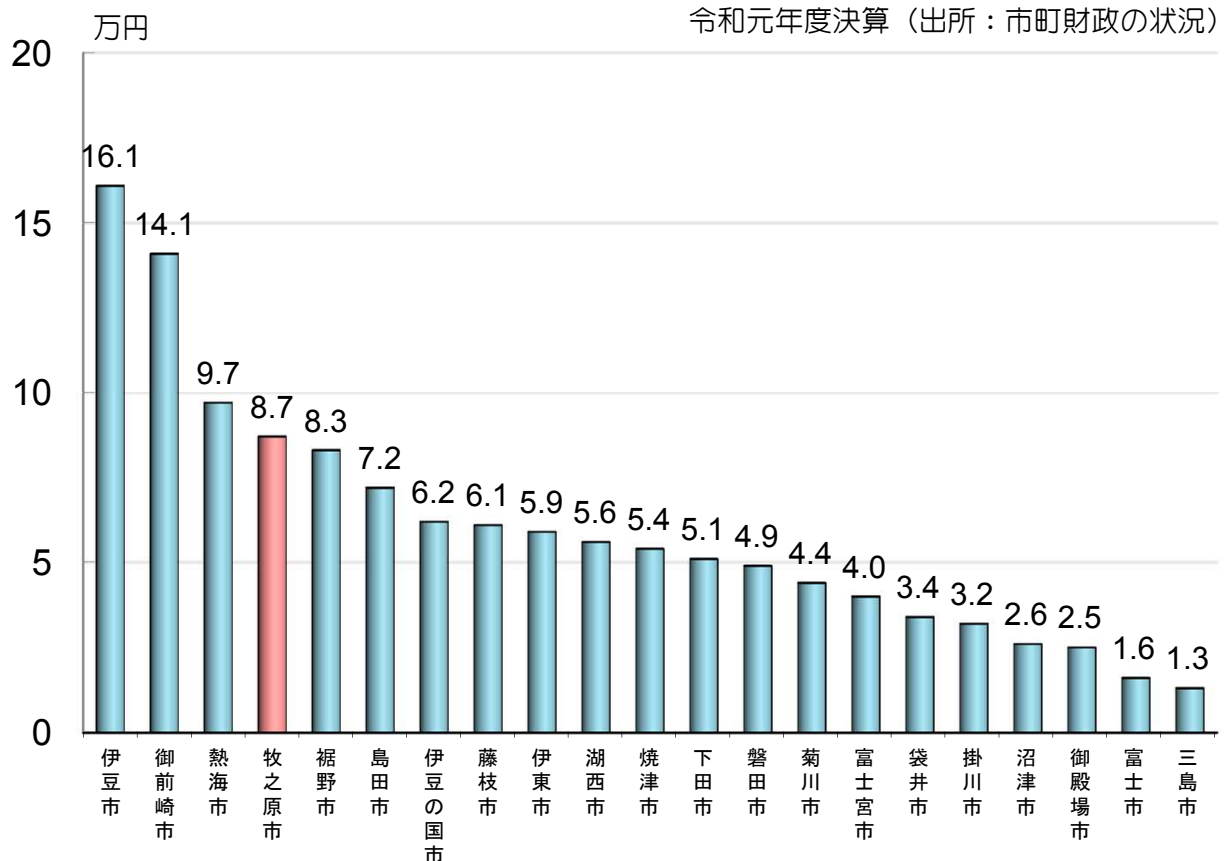
# 牧之原市の貯金は

財政調整基金と  
減債基金の合計額

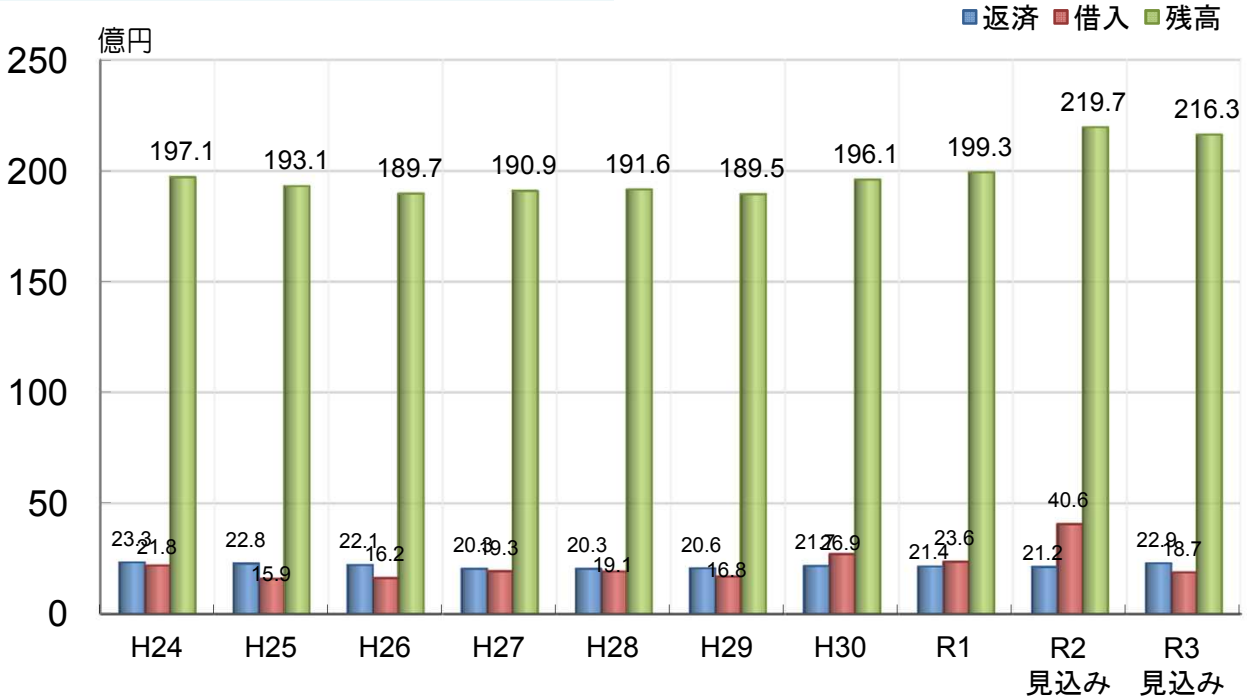
## 基金残高などの推移



## 住民1人あたりの基金残高 (県内21市との比較) 政令市を除く

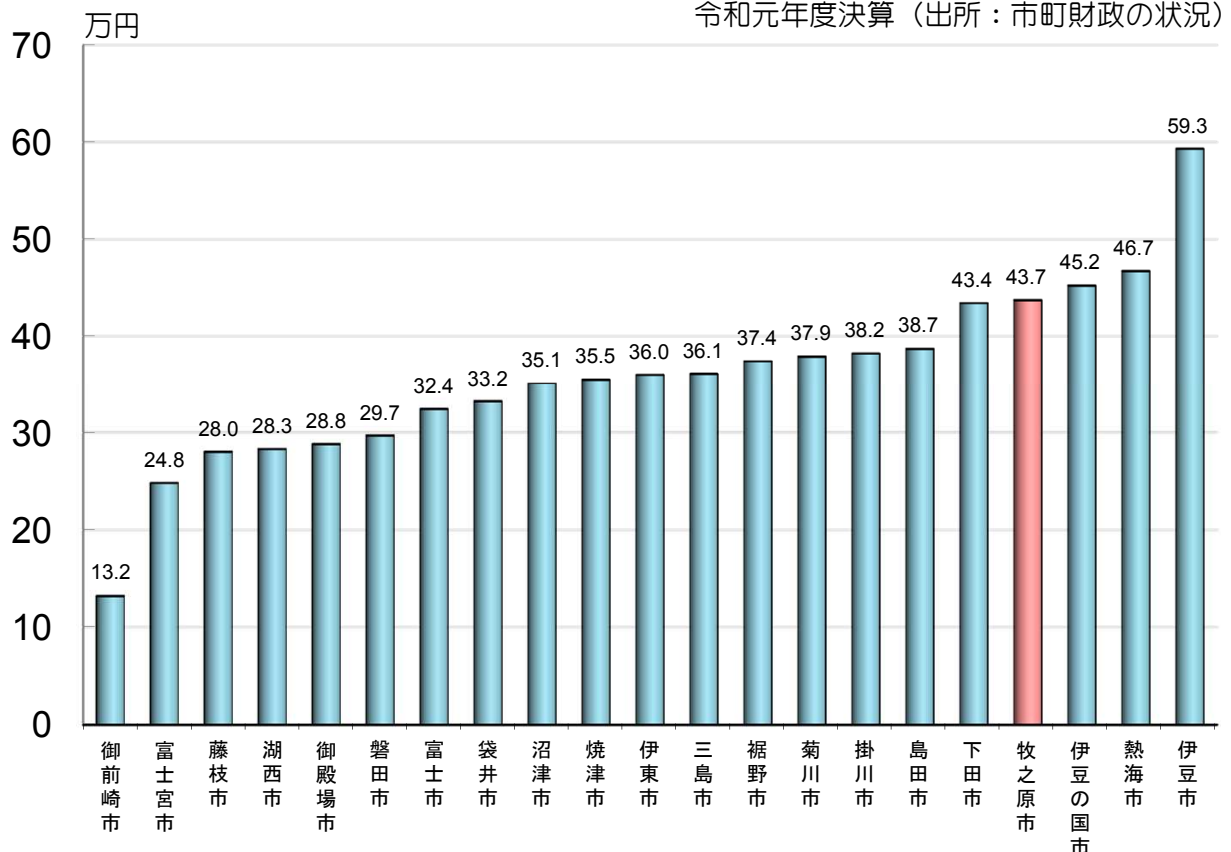


## 市債残高などの推移



## 住民1人あたりの市債残高

(県内21市との比較) 政令市を除く



# 財政運営の目標は

将来世代に過度な負担を残さないよう、次のような目標（方針）を設けて計画的な財政運営に努めていきます。










表中の記号は、目標に対する達成度合を示します。

達成



未達成



主な目標（方針）の内容	2年度予算	3年度予算
一般会計の市債残高が200億円を超えないように努めます。	213.5億円 	216.3億円 
毎年度の「プライマリーバランス」の黒字を維持します。  <small>プライマリーバランスとは、歳入総額から市債額を差し引いた金額と、歳出総額から公債費を差し引いた金額のバランスを言います。                      バランスが釣り合っているとは、税金など借金に頼らない収入によって、借金返済額を除いた支出総額を賄えることを意味します。</small>	7.6億円の赤字  	4.2億円の黒字  
「将来負担比率」が早期健全化基準（350%）以下を維持します。  <small>将来負担比率とは、借金など将来支払うことが決まっている市全体の負債額が、1年間の収入総額に対してどのくらいの割合かを示したものです。</small>	38.6%  	43.1%  
「実質公債費比率」が18%を超えないようにします。  <small>実質公債費比率とは、標準的な年間収入に対して市債等の返済額の占める割合を示したものです。</small>	7.2%  	6.4%  
「財政調整基金」の残高30億円を目指します。	16.5億円  	18.4億円  